

心臓超音波検査

1 心エコー検査って何を調べるのですか？

心臓の**大きさ**や**動き**、心臓の**筋肉**や**弁の状態**、**血液の流れ**などを観察したり心臓の**機能を評価**するため、人間の耳では聞き取れないような高周波の音（超音波）を探触子という装置から発信し反射してくる音波を画像としてとらえてみる検査です。

2 どんな時に検査が必要ですか？

心電図に異常を認める時、心雑音がある、胸部X線異常を認める、胸痛・動悸・むくみ・息苦しさなどの自覚症状がある、各種治療前に必要と認めるとき、心筋梗塞や弁膜症などの経過観察のためなどの時に検査をします。



3 どのようにして検査しますか？

- 患者さんにはベッドに左側臥位で寝ていただきます。
- 上半身は着衣は脱いでいただきますが、胸を広く開けていただければ肌着の着用も可能です。患者さんの状態によっては着衣のままでも、胸を広く開けることが可能であればそのまま検査することもあります。
- 心電図の電極をつけて、心電図を確認しながら検査を進めます。
- 探触子にゼリーをつけて直接胸にあて心臓をいろいろな角度から観察します。
- 空気や骨は超音波が透過しないため、息止めをしたり身体の向きをいろいろ変えたりして検査することもあります。
- レントゲン検査やCTと違いX線を使用しません。時にぴりぴり感を感じる人もいますが人体に対する悪影響は報告されていません。

4 検査時間はどのくらいですか？

この検査は医師が実施します。

およそ20～30分です。患者さんの状態や観察する内容によってはもっと短時間で終了することもあります、もっと時間がかかることもあります。

5 経食道心エコー検査はどんな検査ですか？

探触子のついた胃カメラの様な細い管を口から食道へ挿入し、心臓を裏側から観察する方法です。超音波は空気や骨は透過しないため食道から心臓を直接観察すると、エコーの透過を邪魔するものがないため、体表から観察するよりもきれいに描出することができます。また、体表からは観察できない心臓の裏側部分も描出することができます。

心臓の弁膜症や血栓の有無の評価に必要な検査です。

但し、検査には多少苦痛を伴うため、何度も繰り返し検査することは大変になります。

